



令和8年度

指導員養成訓練 高度養成課程

職業能力開発研究学域
学 生 募 集 要 項

職業能力開発総合大学校

The Polytechnic University of Japan

目 次

●令和8年度職業能力開発研究学域入校試験スケジュール	1
●令和8年度職業能力開発研究学域 公共職業能力開発施設対象入校試験	2
1. 募集対象者（出願資格）	
2. 募集人員	
3. 入校資格審査	
4. 研究計画調整	
5. 出願手続	
6. 選考方法及び選考日	
7. 合格発表	
8. 経費等	
9. 入校手続後の辞退	
●令和8年度職業能力開発研究学域 一般入校試験	7
1. 募集対象者（出願資格）	
2. 募集人員	
3. 入校資格審査	
4. 研究計画調整	
5. 出願手続	
6. 選考方法及び選考日	
7. 合格発表	
8. 入校手続き	
9. 経費等	
10. 入校手続後の辞退	
●別表	
[別表1] 募集専攻に関連する学科の履修内容	12
[別表2] 各専攻で取得可能な職業訓練指導員免許職種	13
●参考	
職業能力開発研究学域担当ユニットの研究テーマ例（令和8年度）	14
●各種様式	
[様式1] 事前面談票	
[様式2] 事前面談確認書	
[様式3] 研究計画書	
[様式4-1] 職業能力開発研究学域 入校志願書（推薦入試）	
[様式4-2] 職業能力開発研究学域 入校志願書（一般入試）	
[様式5] 受験票・副票・受験手数料振込依頼書	
[様式6] 推薦書（公共職業能力開発施設所属者のみ）	

令和 8 年度職業能力開発研究学域入校試験スケジュール

入校資格審査受付期間	令和 7 年 6 月 1 6 日（月）～ 6 月 3 0 日（月）（必着）
研究計画調整期間	令和 7 年 6 月 3 0 日（月）～ 7 月 2 8 日（月）
出願期間	令和 7 年 7 月 2 5 日（金）～ 8 月 4 日（月）
試験日	令和 7 年 9 月 6 日（土）
合格発表	令和 7 年 9 月 2 4 日（水）
入校確約書提出期限	令和 7 年 1 0 月 9 日（木）
入校手続期間	令和 8 年 3 月 2 日（月）から 3 月 1 0 日（火）（必着）
入校手続後の 辞退期限	令和 8 年 3 月 2 3 日（月）（必着）

令和8年度職業能力開発研究学域 公共職業能力開発施設対象入校試験

1. 募集対象者（出願資格）

公共職業能力開発施設において職業訓練指導員候補として採用された者（令和8年4月採用予定者も含む。）又は職業訓練指導員として勤務している者であり、都道府県等の公共職業能力開発施設にあっては各都道府県等の人材開発主管部(局)長が、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の公共職業能力開発施設にあっては同機構の総務部長が推薦する者であって、次の各号の資格を全て満たす者

（1）次の①～④のいずれかの条件を満たす者

①職業能力開発総合大学校（以下「当大学校」という。）において、総合課程を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む）。

②職業能力開発大学校（以下「能開大」という。）において、応用課程を修了した者（令和8年3月修了見込みの者を含む）。

③学校教育法による大学（短期大学を除く）若しくは高等専門学校（専攻科）において、下記2の専攻に関連する学科を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む）。

※各訓練科に関連する学科の履修内容の詳細は、別表1を参照してください。

④上記①から③と同等以上の学力と能力を有すると当大学校が認めた者。

（2）職業能力開発研究学域（以下「研究学域」という。）の教育目的を理解し、高度な職業訓練を担当できる職業訓練指導員となることを強く希望する者。

（3）合格した場合は、入校することを確約できる者。

（4）入校手続期限までに英語能力テストの評価（TOEIC®L&RのスコアやTOEIC IPのスコア等）の原本を提出できる者。

2. 募集人員

専 攻	募 集 人 員
機 械 専 攻	全専攻合計で20名程度
電 気 専 攻	
電子情報専攻	
建 築 専 攻	

※志望専攻は、1専攻に限ります。

※募集人員は公共職業能力開発施設対象入校試験と一般入校試験の合計数です。

※独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構において職業訓練指導員候補として採用された者（令和8年4月採用予定者も含む。）にあっては、同機構の総務部長からの推薦枠が10名であることから、10名を上限として合格とします。

3. 入校資格審査

上記1（1）③及び④の出願資格をもって出願予定の方は、出願前に入校資格審査を受けてください。入校資格審査において、資格が「有」と判断された者のみ出願を認めます。入校資格審査受付期間中の申込みがない場合、出願することはできません。

必要書類は以下のとおりです。

書類等	摘要
卒業（修了）証明書 （見込みも可）	直近3ヶ月以内に発行したものに限りします。
成績証明書	直近3ヶ月以内に発行したものに限りします。
シラバス	在学中に履修した科目の科目名と授業内容の詳細がわかるものを提出してください。

※必要に応じて、上記以外の書類をご提出いただく場合があります。

（1）受付期間

令和7年6月16日（月）～6月30日（月）必着

※上記期間中に簡易書留もしくはレターパックで当大学校学生課あて郵送してください。

（2）入校資格審査の結果について

出願締切の1週間前までに郵送で結果を通知します。

結果に係る問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

なお、入校資格審査の結果は令和8年度入試に限り有効です。

（3）留意事項

- ・入校資格審査は出願資格を審査するものであり、試験の合格を意味するものではありません。
- ・入校資格審査申込時に提出した書類と重複する出願書類は、再度提出する必要はありません。

4. 研究計画調整について

研究計画調整期間は、入校後の研究活動について、教員と志願者の双方で研究イメージを共有するために事前面談を実施する期間です。

志望する指導教員の研究内容がご自身の研究計画の内容と合致しているかどうか、必ず相談・調整をしたうえで出願してください。

研究計画調整期間中の相談がない場合、入校試験を受験することはできません。

（1）研究計画調整期間

令和7年6月30日（月）～7月28日（月）

（2）研究計画調整の流れ

①事前面談票の作成・提出

研究計画の問い合わせの際は「事前面談票（様式1）」を作成の上、当大学校学生課へメールにて送付してください。（メールアドレス：gakusei@jeed.go.jp）

②志望するユニットの教員との事前面談

ご提出いただいた事前面談票をもとに、学生課から担当分野の教員へ連絡します。

後日、教員から具体的な面談の方法についてご連絡します。

③事前面談確認書及び研究計画書の作成

事前面談終了後、「事前面談確認書（様式2）」及び「研究計画書（様式3）」を作成してください。必要に応じて教員と相談し、調整のうえで作成してください。

※いずれの書類も出願時に提出が必要です。

（3）諸注意

・研究計画調整期間中、随時相談を受け付けていますが、出願締切に間に合うよう、余裕を持って調整を完了してください。

・複数の教員へ相談することも可能です。ただし、その場合は志望するユニットごとに「事前面談

票（様式1）」を作成し送付してください。また、相談中の全ての教員に、他の教員にも相談している旨を伝えてください。

- ・事前面談票の提出から1週間以内に教員からの連絡がない場合は、学生課へ問い合わせてください。
- ・事前面談確認書は入試結果に影響を及ぼすことはなく、また職業能力開発研究学域への入校及び志望するユニットへの配属を保証するものではありません。

5. 出願手続

(1) 出願書類の受付期間

令和7年7月25日（金）～8月4日（月）（必着）

- ・出願書類は一括して封筒に封入し、簡易書留又はレターパックプラスで提出してください。
- ・封筒の表面に「研究学域出願書類在中」と朱書きしてください。

(2) 受験手数料

30,000円

出願期間中に当大学が指定する口座へ志願者本人の氏名で振り込んでください。なお、原則として納付された受験手数料は返還できませんのでご注意ください。

銀行名：みずほ銀行

支店名：八坂支店

口座番号：2492029

口座名：(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発総合大学校

トクコウレイショウガ イキュウショクシヤコヨウシエンキコウ ショクギョウノリョウカハツツウゴウダ イダッコウ

(3) 出願書類等

下記の書類を提出してください。

出願書類は、普通紙に印刷したもので出願できます。（ホームページからダウンロードできます。）

なお、一度提出された書類は返還しませんので、ご注意ください。

書 類 等	該当者	摘 要
事前面談確認書 (様式2)	全員	必要事項を <u>手書きまたはデータにて記入</u> してください。 記載内容については、必ず志望するユニットの教員の同意を得たうえで作成してください。
研究計画書 (様式3)	全員	必要事項を <u>手書きまたはデータにて記入</u> してください。 研究計画調整期間中に、志望するユニットの教員と自身の研究予定テーマを調整（相談）の上、作成してください。
入校志願書 (様式4-1)	全員	必要事項を <u>手書きまたはデータにて記入</u> してください。
受験票・副票・受験手数料振込証明書 (様式5)	全員	(イ) 受験票及び副票に以下の条件をすべて満たす写真を貼付してください。写真の裏面には氏名を記入してください。 ・出願前3ヶ月以内に撮影したもの ・正面上半身脱帽で撮影したもの ・縦4cm×横3cmの大きさのもの (ロ) 当大学が指定する口座へ受験手数料（30,000円）を振り込んでください。振込手続時に、金融機関から収納印が押印

		されている受験手数料振込証明書を受け取り、「入校志願書」の裏面に貼付してください。 ATM やインターネットバンキングで振り込む場合は、明細書や振込証明書等の受験手数料を振り込んだことがわかる書類を貼付してください。
推薦書※ (様式6)	全員	所属機関の推薦者による推薦書を提出してください。 ※令和8年4月採用予定者のうち、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構において職業訓練指導員候補として採用された者については、採用内定通知書の写しをもって様式6の提出に代えることができます。出願期間中に採用内定通知書を提出できない場合は、入校確約書提出期限（令和7年10月9日（木））まで提出を猶予します。なお、提出できない場合は、出願書類不備により合格を取り消すことがあります。
成績証明書	全員	<u>出願前3ヶ月以内に出身校により発行されたもので、厳封したものに限り</u>ます。能開大の学生は、専門課程の成績証明書（履修した科目がわかるものに限り）も併せて提出してください。
卒業（修了） 見込証明書	全員	出願前3ヶ月以内に出身校により発行されたものに限り ます。
修了証明書	専門課程修了者	出身校により発行された、<u>専門課程</u>の修了証明書を提出してください。
シラバス	都道府県立 職業能力開発 短期大学校 専門課程修了者	都道府県立職業能力開発短期大学校専門課程修了者は、専門課程の科目のシラバス（科目ごとに内容が記載されたもの）を提出してください。
英語能力試験の スコアが確認できる書類	全員	<u>令和4年4月以降</u>に受験した公式認定証やスコアレポートの原本、もしくはデジタル公式認定証を印刷したものを提出してください。 ※出願期間中に提出できない場合は、入校手続期限まで提出を猶予します。なお、提出できない場合は、出願書類不備により合格を取消すことがあります。

(4) 出願先

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1
職業能力開発総合大学校 学生部学生課 学生第一係
TEL: 042-346-7127

6. 選考方法及び選考日

試験科目及び出願書類の審査結果を総合して選考します。

(1) 試験期日 令和7年9月6日（土）

(2) 試験内容

試験科目	時 間	試験内容
小 論 文	90分	800字程度
面 接	30分程度	個別面接による。

(3) 試験会場

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1
職業能力開発総合大学校

7. 合格発表及び「入校確約書」の提出

(1) 合格発表

令和7年9月24日（水）

合格者には、「合格通知書」を合格発表当日に発送します。なお、不合格者に対する通知は行いません。

また、同日10:00に当大学校1号館1階掲示板に掲示するとともに、当大学校ホームページに掲載します。

※電話等による可否の照会には一切応じられません。

(2) 「入校確約書」の提出

令和7年10月9日（木）（必着）

合格者は、期日までに合格通知書と一緒に郵送する「入校確約書」を当大学校学生部学生課あてに提出してください。

8. 入校手続き

(1) 入校手続き期間

令和8年3月2日（月）から3月10日（火）（必着）

(2) 入校手続書類等

入校手続きに係る書類を令和8年2月中に合格者宛に郵送しますので、上記期間中に手続きを行ってください。

9. 経費等

入校料 282,000円

授業料（年間） 535,800円

※教科書代、施設外実習時の交通費等が別途必要です。

※職業訓練指導員候補者として公共職業能力開発施設に採用（予定者含む。）された者で研究学域合格者のうち、都道府県の公共職業能力開発施設（都道府県が運営する国立の障害者職業能力開発校を含む。）にあっては、各都道府県の職業能力開発主管部長が、職業訓練指導員免許を取得等させる必要があると認め推薦した者、又は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の公共職業能力開発施設にあっては、総務部長が、職業訓練指導員免許を取得等させる必要があると認め推薦した者に行う職業能力開発研究学域における訓練に要する経費（教科書・宿泊費用等を除く。）については、その一部を当大学校で負担することとされておりますので、経費（入校料、授業料）の詳細について学生部学生課までお問い合わせください。

令和8年度職業能力開発研究学域 一般入校試験

1. 募集対象者（出願資格）

高度な職業訓練を担当できる職業訓練指導員となることを強く希望し、修士の学位取得を目指す意欲のある者で、以下の（１）から（４）のいずれかに該当し、かつ（５）を満たす者であること。

- （１）当大学校の総合課程を卒業した者（令和８年３月卒業見込みの者を含む。）
- （２）能開大の応用課程を修了した者（令和８年３月修了見込みの者を含む。）
- （３）学校教育法による大学（短期大学を除く）若しくは高等専門学校（専攻科）において、下記２の専攻に関連する学科を卒業した者（令和８年３月卒業見込みの者を含む。）。
※各専攻に関連する学科の履修内容の詳細は、別表１をご覧ください。
- （４）上記（１）から（３）と同等以上の学力と能力を有すると当大学校が認めた者。
- （５）入校手続期限までに英語能力テストの評価（TOEIC®L&R のスコアや TOEIC IP のスコア等）の原本を提出できる者。

2. 募集人員

専 攻	募 集 人 員
機 械 専 攻	全専攻合計で 20 名程度
電 気 専 攻	
電子情報専攻	
建 築 専 攻	

※1 志望専攻は、1 専攻に限ります。

※2 募集人員は公共職業能力開発施設対象入校試験と一般入校試験の合計数です。

3. 入校資格審査

上記１（３）及び（４）の出願資格をもって出願予定の方は、出願前に入校資格審査を受けてください。入校資格審査において、資格が「有」と判断された者のみ出願を認めます。**入校資格審査受付期間中の申込みがない場合、出願することはできません。**

必要書類は以下のとおりです。

書類等	摘要
卒業（修了）証明書 （見込みも可）	直近３ヶ月以内に発行したものに限りします。
成績証明書	直近３ヶ月以内に発行したものに限りします。
シラバス	在学中に履修した科目の科目名と授業内容の詳細がわかるものを提出してください。

※必要に応じて、上記以外の書類をご提出いただく場合があります。

（１）受付期間

令和７年６月１６日（月）～６月３０日（月）必着

※上記期間中に簡易書留もしくはレターパックで当大学校学生課あて郵送してください。

（２）入校資格審査の結果について

出願締切の１週間前までに郵送で結果を通知します。

結果に係る問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

なお、入校資格審査の結果は令和8年度入試に限り有効です。

(3) 留意事項

- ・入校資格審査は出願資格を審査するものであり、試験の合格を意味するものではありません。
- ・入校資格審査申込時に提出した書類と重複する出願書類は、再度提出する必要はありません。

4. 研究計画調整

研究計画調整期間は、入校後の研究活動について、教員と志願者の双方で研究イメージを共有するために事前面談を実施する期間です。

志望する指導教員の研究内容がご自身の研究計画内容と合致しているかどうか、必ず相談・調整をしたうえで出願してください。

研究計画調整期間中の相談がない場合、入校試験を受験することはできません。

(1) 研究計画調整期間

令和7年6月30日（月）～7月28日（月）

(2) 研究計画調整の流れ

①事前面談票の作成・提出

研究計画の問い合わせの際は「事前面談票（様式1）」を作成の上、当大学校学生課へメールにて送付してください。（メールアドレス：gakusei@jeed.go.jp）

②志望するユニットの教員との相談

ご提出いただいた事前面談票をもとに、学生課から担当分野の教員へ連絡します。

後日、教員から具体的な相談の方法について連絡します。

③事前面談確認書及び研究計画書の作成

事前面談終了後、「事前面談確認書（様式2）」及び「研究計画書（様式3）」を作成してください。

必要に応じて教員と相談し、調整のうえで作成してください。

※いずれの書類も出願時に提出が必要です。

(3) 諸注意

・研究計画調整期間中、随時相談を受け付けていますが、出願締切に間に合うよう、余裕を持って調整を完了してください。

・複数の教員へ相談することも可能です。ただし、その場合は志望するユニットごとに「事前面談票（様式1）」を作成し送付してください。また、相談中の全ての教員に、他の教員にも相談している旨を伝えてください。

・事前面談票の提出から1週間以内に教員からの連絡がない場合は、学生課へ問い合わせてください。

・事前面談確認書は入試結果に影響を及ぼすことはなく、また職業能力開発研究学域への入校を保証するものではありません。

5. 出願手続

(1) 出願書類の受付期間

令和7年7月25日（金）～8月4日（月）（必着）

・出願書類は一括して封筒に封入し、簡易書留又はレターパックプラスで提出してください。

・封筒の表面に「研究学域出願書類在中」と朱書きしてください。

(2) 受験手数料

30,000円

出願期間中に当大学校が指定する口座へ志願者本人の氏名で振り込んでください。なお、原則として納付された受験手数料は返還できませんのでご注意ください。

銀行名：みずほ銀行

支店名：八坂支店

口座番号：2492029

口座名：(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発総合大学校

トクコウレイショウガ イキョウショクシヤコウシエンキョウ ショクギョウノウリョクカイハツソウコウダ イガッコウ

(3) 出願書類等

出願書類は、普通紙に印刷したもので出願できます。(ホームページからダウンロードできます。)

なお、一度提出された書類は返還しませんので、ご注意ください。

書 類 等	該当者	摘 要
事前面談確認書 (様式2)	全員	必要事項を <u>手書きまたはデータにて記入</u> してください。 記載内容については、必ず志望するユニットの教員の同意を得たうえで作成してください。
研究計画書 (様式3)	全員	必要事項を <u>手書きまたはデータにて記入</u> してください。 研究計画調整期間中に、志望するユニットの教員と自身の研究予定テーマを調整(相談)の上、作成してください。
入校志願書 (様式4-2)	全員	必要事項を <u>手書きで</u> 記入してください。
受験票・副票・受験 手数料振込証明書 (様式5)	全員	(イ) 受験票及び副票に出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽の写真(縦4cm×横3cm)を所定の位置に貼付して提出してください。(カラー・モノクロは問いません。) (ロ) 当大学校が指定する口座へ受験手数料(30,000円)を振り込んでください。振込手続時に、金融機関から収納印が押印されている受験手数料振込証明書を受け取り、「入校志願書」の裏面に貼付してください。 ATMやインターネットバンキングで振り込む場合は、明細書や振込証明書等の受験手数料を振り込んだことがわかる書類を貼付してください。
成績証明書	全員	<u>出願前3ヶ月以内に出身校により発行されたもので、厳封したものに限り</u> ます。能開大の学生は、専門課程の成績証明書(履修した科目がわかるものに限り)も併せて提出してください。 ※入校資格審査申込時に提出した場合は不要
卒業(修了) 見込証明書 (既卒の者は卒業 (修了)証明書)	全員	出願前3ヶ月以内に出身校により発行されたものに限り。ます。 ※入校資格審査申込時に提出した場合は不要
修了証明書	専門課程修了者	出身校により発行された、 <u>専門課程</u> の修了証明書を提出してください。

シラバス	都道府県立職業能力開発短期大学校専門課程修了者及び出願資格1(3)に該当する者	都道府県立職業能力開発短期大学校専門課程修了者は、専門課程の科目のシラバス(科目ごとに内容が記載されたもの)を提出してください。 1(3)に該当する者は、履修科目につき、大学等の科目のシラバス(科目ごとに内容が記載されたもの)を提出してください。 ※入校資格審査申込時に提出した場合は不要
英語能力試験のスコアが確認できる書類	全員	令和4年4月以降に受験した公式認定証やスコアレポートの原本、もしくはデジタル公式認定証を印刷したものを提出してください。 ※出願期間中に提出できない場合は、入校手続期限まで提出を猶予します。なお、提出できない場合は、出願書類不備により合格を取消することがあります。

(4) 出願先

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1
職業能力開発総合大学校 学生部学生課 学生第一係
TEL:042-346-7127

6. 選考方法及び選考日

試験科目及び出願書類の審査結果を総合して選考します。

(1) 試験期日 令和7年9月6日(土)

(2) 試験内容(詳細は受験票送付時にご案内します)

試験科目	時 間	試験内容
小論文	90分	800字程度
面接	30分程度	個別面接による。

(3) 試験会場

職業能力開発総合大学校

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1

7. 合格発表

令和7年9月24日(水)

合格者には、「合格通知書」を合格発表当日に発送します。なお、不合格者に対する通知は行いません。
また、同日10:00に当大学校1号館1階掲示板に掲示するとともに、当大学校ホームページに掲載します。

※電話等による可否の照会には一切応じられません。

8. 入校手続き

(1) 入校手続き期間

令和8年3月2日(月)から3月10日(火)(必着)

(2) 入校手続書類等

入校手続きに係る書類を令和8年2月中に合格者宛に郵送しますので、上記期間中に手続きを行ってください。なお、期間内に手続きを完了しなかった者は、当大学校へ入校する意志がなく、入校を辞退し

たものとみなします。

9. 経費等

入校料 282,000円

授業料（年間） 535,800円

※教科書代、施設外実習時の交通費等が別途必要です。

10. 入校手続後の辞退

入校手続後に入校を辞退する場合は、合格通知書と一緒に郵送する「入校辞退届」に必要事項を記入して、令和8年3月24日（火）（必着）で簡易書留又はレターパックプラスにて提出してください。

当該期限までに手続きを行った辞退者を対象に、納付済みの入校金を返還します。

募集専攻に関連する学科の履修内容

※2 ページ 1. (1) ③若しくは④又は7 ページ 1. (3) 若しくは (4) に該当する募集対象者においては、概ね下表右欄の科目を履修していれば、下表左欄の専攻に出願する資格があります。応募資格のうち2 ページ 1. (1) ③若しくは④又は7 ページ 1. (3) 若しくは (4) に該当する場合は、必要書類を用意の上、入校資格審査の受付期間中に必ず入校資格審査を受けてください。

専 攻	履修内容 (科目)
機械専攻	① 機械工学 ② 材料力学 ③ 材料工学 ④ 機械工作 ⑤ 計測工学 ⑥ 機械加工学 ⑦ 機械設計 ⑧ 試験検査法 ⑨ 制御工学
電気専攻	① 電気理論 ② 電子工学 ③ 電気・電子機器 ④ 電気・電子材料 ⑤ 制御工学 ⑥ 電気工作法 ⑦ 電気製図 ⑧ 電力電子工学 ⑨ 計測工学 ⑩ 関係法規
電子情報専攻	① 電気理論 ② 電子工学 ③ 電気・電子機器 ④ 電気・電子材料 ⑤ 通信工学 ⑥ 通信機器設備 ⑦ 制御工学 ⑧ 電子工作法 ⑨ システム設計 ⑩ ソフトウェア工学 ⑪ ネットワーク工学
建築専攻	① 建築計画 ② 建築設計 ③ 建築構造 ④ 建築構造力学 ⑤ 建築材料 ⑥ 建築施工 ⑦ 建築生産 ⑧ 建築環境 ⑨ 建築設備 ⑩ 関係法規

各専攻で取得可能な職業訓練指導員免許職種

専攻	機械専攻	電気専攻	電子情報専攻	建築専攻
免許職種	機械科 (溶接科) (メカトロニクス科) (塑性加工科) (熱処理科)	電気科 (電気工事科) (メカトロニクス科) (発電電科) (送配電科)	電子科 (コンピュータ制御科) (情報処理科) (メカトロニクス科)	建築科 (建設科) (配管科) (防水科) (左官・タイル科) (木工科)

以下に該当する場合は、（ ）内の免許職種を取得することができます。

- 当該免許職種に関する総合課程の専攻を卒業した場合
- 応用課程において、当該免許職種に関する科目を修めて修了した場合
- 学校教育法による大学において、当該免許職種に関する科目を修めて卒業した場合

職業能力開発研究学域担当ユニットの研究テーマ例（令和８年度）

機械専攻 研究テーマ	担当ユニット名
安全確認型システムにおける停止機能評価	安全
機械作業における事故防止作業手順書の開発	
切削加工におけるインプロセス計測システムの開発	機械設計
技能の可視化と定量的評価に関する研究	機械加工
プラスチック射出成形における離型力予測と離型抵抗低減方策に関する研究	NC・CAM
放電加工を用いた穴加工法の開発に関する研究	
高純度電解鉄板のプレス成形性に関する研究	塑性加工
マグネシウム合金圧延板における絞り性に及ぼす面内圧縮によるひずみ勾配比の影響	
交流パルス電源を用いた球状黒鉛鑄鉄の溶接性	溶接
アルミニウム合金の摩擦かくはん接合における接合荷重とツール温度が継手品質に及ぼす影響	
メカトロニクス機器の設計・制御と技能教育に関する研究	メカトロニクス
マス・カスタマイゼーションを考慮する生産管理システムに関する研究	企業経営
深層学習と BRMS を用いた受注・設計・生産業務の簡素化に関する研究	
流体現象の可視化計測と数値シミュレーションによる解明	機械環境エネルギー
ライフイノベーション実現に向けた福祉機器の開発	福祉工学
工学の諸問題に現れる偏微分方程式の数理解析	技術基礎

電気専攻 研究テーマ	担当ユニット名
化学・電気エネルギーの相互変換を目指した分子の電極固定化方法の確立	技術基礎
パワーエレクトロニクス、電動機システムにおけるエネルギー変換分野の研究	エネルギー変換
リニアモータや回転機の設計・解析と高性能制御に関する研究	
インダストリー4.0に対応した模擬生産システム実習装置の開発と人材育成に関する研究	制御工学
電気設備の保護および安全に関する研究	電気設備
放電プラズマおよび静電気をを用いた環境浄化技術に関する研究	電気環境化学
太陽光発電システムの制御に関する研究	電気環境エネルギー
電磁気を用いた金属または複合材料の非破壊評価に関する研究	応用センシング

電子情報専攻 研究テーマ	担当ユニット名
感覚運動系技能を要する作業に対する認知科学的技能評価法～脳機能、自律神経機能、視線、身体動作の各計測に基づく～	心身管理・生体工学
電子機器組立て作業における効率的な学習法の研究	
Radon 変換とその工学への応用	技術基礎
電子間相互作用が強い物質系における物性メカニズムの数値解析	
卓越した技能の見える化、及び VR などを活用した教育実践への応用	技能 DX
マルチモーダルなデータからの知識抽出技術の探索と訓練指導への応用	
AI・ビッグデータの活用の際に求められる技術者倫理に関する研究	職業能力開発原理
I C Tによる職業訓練指導員の負担軽減に関する研究	
ヒューマンファクターに基づく適応的学習支援に関する研究	キャリア形成支援
計測光学と情報光学に基礎を置いた研究と能力開発分野への応用手法の研究	ものづくり計測
PID 制御系の性能向上に関する研究	
通信用アンテナの多機能化を実現する構造の提案（アンテナ分野）	電子回路
相互変調ひずみの非接触評価法の開発（高周波計測分野）	
全方向移動ロボットにおけるアクチュエータ故障の検出と補償制御	電子制御・信号処理
類似特徴植物分類のための深層学習を利用した画像分類モデルの改良	情報処理
顔の認知と情報処理に関する研究	
デジタル無線通信（光・電波）の通信品質改善に関する研究	情報ネットワーク
デジタルデータ伝送の誤り耐性強化に関する研究	
技能訓練における科学的トレーニング法の開発と実証研究	情報通信
ストリームデータマイニングにおける情報抽出やストラクチャ分析に関する研究	
次世代職業訓練のためのビッグデータ利活用基盤の開発	技能 DX・情報通信・ ラーニングファクトリー

建築専攻 研究テーマ	担当ユニット名
建築・地域空間の計画に関する研究	建築計画・設計・C A D
建築設計方法に関する研究	
住環境満足度およびインテリア計画手法に関する研究	
地域景観・家屋の更新に関する研究	
木質構造における継手位置が立体架構の強度特性に及ぼす影響	建築施工・構造評価（木造）
建築大工技能の動作解析結果に基づく指導方法の提案	
鉄筋コンクリート造の耐震性能、解体手法に関する研究	建設施工・構造評価（R C）
RC 造に係る技能育成に関する研究	
環境配慮型コンクリートを用いた RC 構造物の耐久性に関する研究	
コンクリート材料または左官材料の物性評価に関する研究	建築仕上・材料評価
木質構造の構造性能評価に関する研究	建築構造
木材・木質材料の強度性能評価に関する研究	木工・塗装・デザイン
建築構造物または建築設備を対象とした振動特性に基づく性能評価手法の開発	建築環境設備エネルギー

各種様式

●公共職業能力開発施設対象入校試験への出願を希望する方は、様式1・2・3・4-1・5・6を使用してください。

●一般入校試験への出願を希望する方は、様式1・2・3・4-2・5を使用してください。

●各種様式

[様式 1] 事前面談票

[様式 2] 事前面談確認書

[様式 3] 研究計画書

[様式 4-1] 職業能力開発研究学域 入校志願書（公共職業能力開発施設対象入試）

[様式 4-2] 職業能力開発研究学域 入校志願書（一般入試）

[様式 5] 受験票・副票・受験手数料振込依頼書

[様式 6] 推薦書（公共職業能力開発施設所属者のみ）

記入日 年 月 日

職業能力開発研究学域 入校試験

事前面談票

フリガナ		
氏名		
連絡先 ※日中確実に連絡がつく連絡先を 記入してください	〒	電話
メールアドレス		

志望専攻	専攻	
志望するテーマ	テーマ	
	ユニット名	
志望理由		
卒業研究のテーマ及び研究内容 ※職業大生及び募集要項p. 2 の 1 (1) ③若しくは④又はp. 7 の 1 (3) 若しくは (4) に該当する者のみ	テーマ	
	研究内容	
開発課題実習テーマ及び 主に担当する内容 ※能開大生のみ	テーマ	
	担当する内容	
総合制作実習テーマ及び 主に担当した部分 ※能開大生のみ	テーマ	
	担当した内容	
質問事項等		

受験番号（※記入不要）	
-------------	--

様式2

令和 年 月 日

職業能力開発研究学域入校試験
事前面談確認書

職業能力開発総合大学校長 殿

指導教員名（署名）

下記の者について、事前面談を行いました。

フリガナ 志願者氏名	
出願予定の試験	公共職業能力開発施設対象 ・ 一般
志望専攻	
志望するテーマ	
指導教員	

・太枠内を記入すること。指導教員の署名欄は空欄のまま提出してください。

※本確認書は入試結果に影響を及ぼすことはなく、また職業能力開発研究学域への入校を保証するものではありません。

職業能力開発研究学域_____専攻 担当ユニット名_____

主たる指導教員名_____指導教員名_____

※左記教員と同じ場合は記入不要

研 究 計 画 書

(西暦) 年 月 日

職業能力開発総合大学校長 殿

(フリガナ)

志願者氏名_____

(志望するテーマ)

(背景及び目的)

(研究方法)

(予想される研究成果)

職業能力開発研究学域 入校志願書(公共職業能力開発施設対象入試)

受 験 番 号														
フリガナ														
氏 名														
※ 性 別		☐ 男 ☐ 女												
生 年 月 日		(西暦)												
志 願 者	勤 務 (予 定) 先	勤務先名称												
		郵便番号				—								
		住 所												
		電話番号												
		勤務先への連絡	可	・	否									
自 宅	郵便番号													
	住 所													
	電話番号													
携帯電話番号														
※志望する専攻		☐ 機械専攻 ☐ 電気専攻 ☐ 電子情報専攻 ☐ 建築専攻												
大学(校)名														
学部・学科														
課程・科名														
※卒業・修了年月		(西暦)											☐ 卒 業 ☐ 卒業見込み	
※ 令和8年4月までに、 職業訓練指導員免許 取得又は取得見込みで あるか。		☐ はい ☐ いいえ												

- ・※がついている項目については、該当するもののいずれかにチェックを入れてください。(例)☑
- ・太枠内を記入してください。
- ・裏面に受験手数料振込証明書を貼り付けてください。

受験手数料
振込証明書
貼付欄

職業能力開発研究学域 入校志願書(公共職業能力開発施設対象入試)

受 験 番 号											
フリガナ		シ ョ ク ギ ョ ウ タ ロ ウ									
氏 名		職業 太郎									
※ 性 別		☒ 男 ☐ 女									
生 年 月 日		(西暦) ○ ○ ○ ○ 年 ○ 月 ○ 日									
勤務先(予定)	勤務先名称	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構									
	郵便番号	2 6 1 - 8 5 5 8									
	住 所	千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2									
	電話番号	0 4 3 - 2 1 3 - 6 0 0 0									
	勤務先への連絡	☒ 可 ・ 否									
自宅	郵便番号	1 8 7 0 0 3 5									
	住 所	東京都小平市小川西町2-**-*									
	電話番号										
携帯電話番号		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
※志望する専攻		☒ 機械専攻 ☐ 電気専攻 ☐ 電子情報専攻 ☐ 建築専攻									
大学(校)名		職業能力開発総合大学校									
学部・学科											
課程・科名		総合課程 機械専攻									
※卒業・修了年月		(西暦) ○ ○ ○ ○ 年 ○ 月 ☐ 卒 業 ☒ 卒業見込み									
※令和●年4月までに、職業訓練指導員免許取得又は取得見込みであるか。		☒ はい ☐ いいえ									

- ・※がついている項目については、該当するもののいずれかにチェックを入れてください。(例) ☒
- ・太枠内を記入してください。
- ・裏面に受験手数料振込証明書を貼り付けてください。

- ・※がついている項目については、該当するものいずれかにチェックを入れてください。（例）☒
- ・太枠内を記入してください。
- ・裏面に受験手数料振込証明書を貼り付けてください。

受験手数料
振込証明書
貼付欄

職業能力開発研究学域 入校志願書（一般入試）

受験番号											
フリガナ		シ ョ ク ギ ョ ウ タ ロ ウ									
氏 名		職業 太郎									
※ 性 別		☒ 男 ☐ 女									
生 年 月 日		(西暦) ○ ○ ○ ○ 年 ○ 月 ○ 日									
志 願 者	勤務先 (在職者のみ)	勤務先名称									
		郵便番号									
		住 所									
		電話番号									
		勤務先への連絡 可 ・ 否									
自 宅	郵便番号	1 8 7 0 0 3 5									
	住 所	東 京 都 小 平 市 小 川 西 町 2 - * - *									
	電話番号										
携帯電話番号		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
※志望する専攻		☒ 機械専攻 ☐ 電気専攻 ☐ 電子情報専攻 ☐ 建築専攻									
大学（校）名		職業能力開発総合大学校									
学部・学科											
課程・科名		総合課程 機械専攻									
※卒業・修了年月		(西暦) ○ ○ ○ ○ 年 ○ 月 ☐ 卒 業 ☒ 卒業見込み									
※ 令和7年4月までに、 職業訓練指導員免許 取得又は取得見込みで あるか。		☒ はい ☐ いいえ									

- ・※がついている項目については、該当するもののいずれかにチェックを入れてください。（例）☒
- ・太枠内を記入してください。
- ・裏面に受験手数料振込証明書を貼り付けてください。

受験票

写真貼付欄 1. 正面上半身 2. 出願3か月以内撮影 3. 裏に志望専攻、氏名を記入し、しっかりと添付すること 4. 縦4cm×横3cm	受験番号	※記入不要
	志望専攻	
	フリガナ	
氏名		

副票

受験番号	※記入不要
志望専攻	
フリガナ	
氏名	

写真貼付欄

- 1. 正面上半身
- 2. 出願3か月以内撮影
- 3. 裏に志望専攻、氏名を記入し、しっかりと添付すること
- 4. 縦4cm×横3cm

職業能力開発研究学域 受験手数料

振込証明書	
受験番号	※記入不要
志望専攻	
フリガナ	
氏名	
依頼日	年 月 日
金額	¥30,000
振込先 みずほ銀行八坂支店 上記のとおり領収しました。 (取扱銀行→振込依頼人)	

取扱銀行
収 納 印

振込後 出願書類に同封すること

職業能力開発研究学域 振込領収書

依頼日	年 月 日
金額	¥ 3 0 0 0
振込先銀行	みずほ銀行 八坂支店
受取人	シヨクギョウノウリョウカイハツソウゴウダイガッコウ
フリガナ	
氏名	
志望専攻	

上記のとおり領収しました。
大切に保管してください。

取扱銀行
収 納 印

(取扱銀行→振込依頼人)

職業能力開発研究学域 受験手数料電信振込依頼書

依頼日	年 月 日	通信通番	手数料
振込先銀行	みずほ銀行 八坂支店	金額	¥ 3 0 0 0
口座種別	普通口座	口座番号	2492029
口座人名義	シヨクギョウノウリョウカイハツソウゴウダイガッコウ		
フリガナ		現金	
		当手 枚	
振込者氏名		他手 枚	
振込者住所			
振込者電話番号	()	—	

①取扱銀行へお願い→太枠内を打電してください。

②受験生の氏名で必ず振り込んでください。

③手数料は依頼者負担をお願いします。

(取扱銀行保管)

取扱銀行
収 納 印

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
職業能力開発総合大学校

受験票

写真貼付欄 1. 正面上半身 2. 出願3カ月以内撮影 3. 裏に志望専攻、氏名を記入し、しっかりと添付すること 4. 縦4cm×横3cm	受験番号	※記入不要
	志望専攻	機械専攻
	フリガナ	シヨクギョウ タロウ
	氏名	職業 太郎

副票

受験番号	※記入不要
志望専攻	機械専攻
フリガナ	シヨクギョウ タロウ
氏名	職業 太郎

写真貼付欄

- 1. 正面上半身
- 2. 出願3カ月以内撮影
- 3. 裏に志望専攻、氏名を記入し、しっかりと添付すること
- 4. 縦4cm×横3cm

職業能力開発研究学域 受験手数料

振込証明書	
受験番号	※記入不要
志望専攻	機械専攻
フリガナ	シヨクギョウ タロウ
氏名	職業 太郎

依頼日 年 月 日

金額 ¥30,000

振込先 みずほ銀行八坂支店

上記のとおり領収しました。

(取扱銀行一振込依頼人)

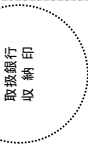


振込後 出願書類に同封すること

職業能力開発研究学域 受験手数料

依頼日	年	月	日
金額	¥	3	0
振込先銀行	みずほ銀行	八坂支店	
受取人	シヨクギョウ タロウ	クカイハツソウゴウ	
フリガナ	シヨクギョウ タロウ		
氏名	職業 太郎		
志望専攻	機械専攻		

上記のとおり領収しました。
大切に保管してください。



(取扱銀行一振込依頼人)

職業能力開発研究学域 受験手数料電信振込依頼書

依頼日	年	月	日	通信通番	手数料
振込先銀行	みずほ銀行	八坂支店		金額	¥ 3 0 0 0
口座種別	普通口座	口座番号	2492029	現金	
口座人名義	シヨクギョウノウリヨクカイハツソウゴウダイガイコウ			当手枚	
フリガナ	シヨクギョウ タロウ			他手枚	
振込者氏名	職業 太郎				
振込者住所	東京都小平市小川西町2-×-×				
振込者電話番号	(090) 1234 - 5678				



- ①取扱銀行へお願い一太枠内を打電してください。
- ②受験生の氏名で必ず振り込んでください。
- ③手数料は依頼者負担をお願いします。

(取扱銀行保管)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
職業能力開発総合大学校

推薦書
(職業能力開発研究学域 公共職業能力開発施設対象入校試験)

年 月 日

職業能力開発総合大学校長 殿

組織名: _____

推薦者名: _____ 印

下記の者を、貴大学校への入校志願者として、責任をもって推薦いたします。なお、出願資格をすべて満たしていることを確認いたしました。

① 志望専攻	② ふりがな 氏名	③ 配属予定施設名 担当予定科	④ 生年月日 (年齢) 性別	⑤ 最終学歴 校名 専攻科名 卒業年月	⑥ 備考
			年 月 日		
			(歳) 男・女		
			年 月 日		
			(歳) 男・女		
			年 月 日		
			(歳) 男・女		
			年 月 日		
			(歳) 男・女		
			年 月 日		
			(歳) 男・女		

(注) 1 ③欄の施設名は、配属先が決まっていない場合、記入不要です。
2 年月日等を記入する時は、和暦を用いること。なお、「昭和」を「S」、「平成」を「H」、「令和」を「R」として記してかまわないこと。
3 その他特記すべき事項がある場合は、⑥欄の備考に記入すること。

お問い合わせ先

職業能力開発総合大学校 学生部学生課

〒187-0035 東京都小平市小川西町 2-32-1

電話 : 042-346-7127 FAX : 042-346-7250

E-mail : gakusei@jeed.go.jp